

現在10単組から
19名が参加中!!

実行委員 大募集

第1号
2016. 9. 24

前回南知多で行い、大盛況で幕を閉じた・・・
あいち青年集会の実行委員会が、再び動き出しました！
今回は2017.1/28～/29、蒲郡 西浦温泉で開催します。
昨年度は13単組28名の実行委員が集まりました。
★ 今年度は全単組からの実行委員を、大大大募集しています☆
「組合のこと、よく知らないし…」なんていうあなたも大丈夫!!
県内の自治体から集まった、様々な職種の仲間たちと仲良く会議を重ねながら
組合について楽しく学び、一緒に準備をしていきましょう♡



次回の会議
10/9 15:00～
@労働会館

↓ 昨年度の実行委員会





実行委員長あいさつ

「まな心がま」実行委員長、岩倉市職の用松(もちまつ)です。毎年若い職員を対象とした、組合について楽しく学べる交流会があり、昨年も多くの職員が参加し、大好評をいただいております。今年は「まな心がま」ということで場所は蒲郡の西浦温泉です。組合について楽しく交流しながら学びましょう。「組合ってよくわかんない」「とりあえず組合加入してるけど…」と思っている方大歓迎！私自身も2年目の職員でまだまだ何もわからない状態です。一緒になって組合のことについて語り合いましょう！

2016年青年アンケート考察コラム

自治労連愛知県本部県本部青年部が実施した2016年青年アンケートでは13単組539通の声が寄せられました。その結果の一部にスポットをあてて、考察をしていきます。どんな問題があるのか、じゃあどうしていけばいいのかなど、少し考えてみてください。

奨学金が青年の生活の負担に！

第1回は奨学金についてです！右上の結果から分かるように、回答者の約1/4の人が奨学金を受けていたことになります。さらに奨学金を返済中と回答した青年の半数以上が、今の賃金では「非常に苦しい」または「やや苦しい」と答えています。また返済については、毎月1～3万円返済していることが分かりました。昨年、愛労連が行った最低生計費調査では、どこで暮らしても月額22万以上必要だという結果が示されました。それに対し初任給は、国基準（地域手当なし）で18万円にも届きません。さらにそこから1～3万円が奨学金の返済にあてられることで、青年の生活はさらに困窮したものになっています。そもそも日本の奨学金の制度は、外国と比べ「貸与型」で有利子のものが圧倒的に多いことが問題となっています。日本国憲法26条1項にある「等しく教育を受ける権利」を支えるためにあるはずの奨学金が、教育ローン（学生ローン）化しています。減免制度や軽減制度の実現が求められています。

